

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

私たちの住む丹波・丹波は、豊かな自然と歴史に支えられた誇れるふるさとです。この”ふるさと”を、「障害を持つ人も高齢者もすべての人が助け合いながら共に暮らせるまち」にすることが、私たちの使命であると考えます。

丹波・丹波地域についてはこれまで横のつながりが少なく、それぞれの市や町などが単独で街づくりを行ってきた結果、せつかくの恵まれた豊かな自然、海や山の幸をうまく生かし切れておらず、また施設等で行われているパン作りやオリジナルTシャツの製作・販売などもネットワークが構築されていないため、限られた人たちの利用にとどまっているのが現状です。現在、広域振興局を中心にそれぞれの地域間の連携が図られてきているところですが、さらに人々が活気にあふれ、創造性にあふれた“まち”を創るには、それぞれの“活動”やそれぞれの“まち”をつなぐ新たなネットワーク作りが必要なのではないのでしょうか。私たちは、ICT等を利用し、障害者や高齢者施設、作業所等と地域とをつなぐ活動を広げていくことで、新しい出会いや交流が生まれ、生きる力を生み出し、産業や文化を創造していけるのだと確信しています。

私たちはICTなどを利用して、NPO法人だからこそできる新たなネットワークを構築することにより、丹波・丹波地域に居住するすべての住民がそれぞれの能力に応じ、共に産業活動に従事するための様々な活動を支援するとともに、NPO等に対するコンサルタント事業やIT教育等を通して地域活性化を図り、“明日のまちづくり”と地域福祉に貢献することを目的に、ここに『特定非営利活動法人 京都丹波・丹波ネットワーク』を設立いたします。

2 申請に至るまでの経過

上記趣旨に述べましたように、私たちは丹波・丹波地域を活性化するためにはまずはネットワーク作りが必要と考え、昨年末から同じ志を持つ者が集まり、実現にはどのような方法が最適かを議論した結果、活動範囲・内容が広域・多岐にわたることなどから、NPO法人の申請に思い至りました。

平成22年3月30日

特定非営利活動法人 京都丹波・丹波ネットワーク
設立（代表）者 住所又は居所

京都市福知山市字厚200番地の37

氏名 森田 洋行

